

令和元年度 S I P 第 2 期課題評価結果への対応について

令和 2 年 2 月 27 日
ガバニングボード決定

令和元年度 S I P 第 2 期課題評価結果に基づく令和 2 年度予算配分のメリハリ付けと併せて、各課題（プログラム）に係る指摘事項に対する所要の見直し及び改善を徹底するため、以下の措置を行うこととする。

I. 1 1 課題（スマート物流サービスを除く。）

1. 今般の課題評価で「A+」を受けた課題（プログラム）について、課題評価 WG の結論を踏まえ、次年度予算は前年度当初予算比「5%増」とする。
2. 今般の課題評価で「A」を受けた課題のうち、課題評価 WG において、次年度予算を削減すべきとの結論を得た「ビッグデータ・AI を活用したサイバー空間基盤技術」、「スマートバイオ産業・農業基盤技術」については、それぞれ次年度予算を前年度比「5%減」とする。その他の「A」評価を受けた課題については、次年度予算を前年度と同額とする。
3. 今般の課題評価で「A-」を受けた課題（プログラム）について、課題評価 WG の結論を踏まえ、次年度予算は前年度当初予算比「10%減」とする。また、指摘事項の確実な改善に向けたインセンティブを図るため、さらに 10%の予算を留保するものとする。その上で、本年 5 月中下旬に、当該評価結果の指摘事項への改善状況について臨時課題評価 WG にて審議し、改善の取組が進んでいると認められた時点で、原則、残りの予算を配分する。なお、残りの予算が配分されない場合には、当該未配分予算は、SIP 全体の追加配分財源に充てることが出来ることとする。
4. また、評価結果に関わらず全ての課題（プログラム）について、令和元年度課題評価の指摘事項への改善状況について、本年夏頃までにプログラム統括（課題評価 WG 座長）へ報告することとする。

Ⅱ. スマート物流サービス

1. 本課題については、今般の課題評価で「B+」となったことから、評価での指摘を踏まえて、可及的速やかに研究開発計画等を含めた必要な見直しを行う。その後、各管理法人に設置されたピアレビュー委員会でその見直し案を審議し、A相当のピアレビュー評価が得られるまで改善を行う。その後、本年5月中下旬（予定）に臨時の課題評価WGを開催することとし、そこで十分な時間（1課題当たり2時間程度の審議時間を想定）をかけて、見直し案について審議・評価を行い、課題評価WGでA評価を受けるよう目指す。なお、各管理法人のピアレビュー委員会の長にも課題評価WGへの出席を求め、課題評価WG委員がピアレビュー結果等につき意見聴取・質疑を行う。
2. 本課題については、令和2年度配分額の半額のみを交付するにとどめ、上記の臨時課題評価WGでA評価相当が得られた時点で、原則、残りの予算を配分する。なお、上記の課題評価WGでA評価が得られず、残りの予算が配分されない場合、当該未配分予算は、SIP全体の追加配分財源に充てることが出来ることとする。

Ⅲ. その他

1. 令和2年度当初配分時点で未配分の予算は、本年5月中下旬に開催予定の臨時課題評価WGにて追加配分することが適当であるか否かの審査を行い、最終的にガバニングボードにて追加配分の適否及び金額について決定する。
2. 上記Ⅰ. 及びⅡ. にかかわらず、すべての課題（プログラム）において、今回指摘された事項について次年度の評価（令和2年度課題評価）時点でもなお改善が見られない場合には、当該評価結果を無条件で1ランク以上降格（例えば、評価WGの評価が「A」と集計された場合、「A-」以下に無条件に降格）する。

以 上

今後の主な審議日程等（暫定版）

【2019 年度】

◎2020 年 2 月 7 日 課題評価WG（開催済）

◎2020 年 2 月 27 日 ガバニングボード

（※2020 年 2 月 27 日：評価結果に基づき、2020 年度予算配分額を最終決定）

【2020 年度】

◎2020 年 5 月中下旬 （臨時）課題評価WG（2 回程度開催）

（※スマート物流サービスの再評価・追加配分評価）

◎2020 年 6 月中下旬 ガバニングボード

（※上記評価結果に基づき、再評価・残額を追加配分決定）

◎2020 年 6 月～10 月 研究拠点等現地視察

・全 12 課題の現地視察を実施

（※2020 年 9 月：2020 年度の評価方法等について決定。）

◎2020 年 11 月～12 月 PDによる自己評価及び

管理法人におけるピアレビューの実施

◎2021 年 1 月中下旬 課題評価WG（4～5 回程度開催）

・各課題（プログラム）の中間評価

◎2021 年 2 月中下旬 ガバニングボード

・2020 年度評価結果決定